

令和 5 年 6 月 21 日現在

機関番号：23302

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2021～2022

課題番号：21K21150

研究課題名（和文）看護管理職がCOVID-19患者専用病棟に配置する看護師の選択基準と評価の実態

研究課題名（英文）Evaluation Criteria of Nursing Managers for Selecting Nurses to be Placed in Wards Dedicated to Patients with COVID-19

研究代表者

千田 明日香（Senda, Asuka）

石川県立看護大学・看護学部・助教

研究者番号：10908560

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,800,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の目的は医療機関がCOVID-19患者専用病棟を開設した時に、配置する病棟看護師および応援看護師の選択にあたって重視された基準を把握することである。COVID-19患者専用病棟を有する医療機関に質問紙調査を行った結果、看護師を選択する時には妊娠や基礎疾患などの感染リスクが無いことが重視されていた。加えて重症患者を受け入れる場合は集中治療室の勤務経験など、重症患者の看護実践経験が重視されていることが示唆された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

COVID-19患者専用病棟で勤務する看護師は心身の負担感が大きいことが報告されており、COVID-19患者専用病棟に求められる看護師の基準が明確になることで、配置転換が柔軟に実施できると考えた。本研究では、COVID-19患者専用病棟に配置する看護師は感染リスクや重症患者の看護実践能力が重視されていた実態を明らかにした。本研究の結果は、医療機関が新規感染症を受け入れる際に専用病棟に配置する看護師の基準を定める際の基礎資料となる。また、重症患者の看護を実践できる看護師を確保するための人事や教育体制づくりの必要性を示唆したことに意義がある。

研究成果の概要（英文）：The study aimed to clarify the criteria that nursing managers emphasized on during the selection of ward and support nurses to be placed in a ward dedicated to patients with COVID-19. A questionnaire survey was conducted for nursing managers of medical institutions that opened these wards.

The survey results revealed that nursing managers emphasized the absence of risk factors for infection, such as pregnancy and underlying diseases when selecting ward and support nurses to be placed in these wards. Additionally, in a ward for severely ill patients with COVID-19, the selection criteria focused on practical nursing experience in caring for these patients, such as work experience in an intensive care unit.

研究分野：看護管理学

キーワード：新型コロナウイルス感染症 病棟看護師 応援看護師 配置転換

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

2020年1月28日新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)が指定感染症に定められ、都道府県に重点医療機関または協力医療機関に指定された病院は COVID-19 患者を受け入れる病棟(以下、COVID-19 病棟)を設置した。その際、看護管理職は院内の看護師を COVID-19 病棟に配置したり、他部署の看護師を応援要員として COVID-19 病棟に派遣したりすることで COVID-19 患者に看護を実践する体制を整えた。

COVID-19 患者への対応には多数の人員が必要とされており、日本看護協会(2021)からは重症の COVID-19 患者を受け入れる集中治療室の場合、通常の2倍から4倍の人員が必要となること、一般社団法人クリティカルケア看護学会、一般社団法人日本集中治療医学会(2021)からは ECMO の運用、PPE 着用による業務の効率性低下、職員のメンタルヘルス対策や休暇の確保の観点から、患者1人に1人以上の看護師の配置が望ましいことが報告されている。そのため、看護管理職は COVID-19 病棟を開設する際に、指定感染症への看護実践経験や実践能力が十分備わっていない看護師も COVID-19 病棟に配置、または応援要員として派遣せざるを得ない状況であったことが推察される。

先行研究では、看護管理職が COVID-19 病棟で勤務する看護師(以下、COVID-19 病棟看護師)を選択した基準(公益社団法人愛知県看護協会,2020; Poortaghi1, S. Shahmari, M. Ghobadi, A., 2020; 武村, 2021)、クラスターが発生した場合は看護師個々の希望を問わず COVID-19 病棟に看護師を配置せざるを得ない状況であったことが報告されている(武村, 2021)。また、応援要員として各部署から COVID-19 病棟に派遣する看護師(以下、応援看護師)については、入院患者の増加および重症患者が増加した場合の選択基準が報告されている(藤野, 鈴木, 井出, 川島, 2020; 古林, 2021)。

しかし、COVID-19 病棟開設時における病院や COVID-19 病棟の特性と看護管理職による COVID-19 病棟看護師および応援看護師の選択基準との関連、また、COVID-19 病棟への配置転換後に看護管理職が行った看護師の選択および配置転換の評価の実態は明らかにされていない。

2. 研究の目的

本研究は、(1)(2)を目的に実施した。

(1) COVID-19 病棟の開設時に COVID-19 病棟看護師および応援看護師の選択において重視された基準及びその影響因子を明らかにする。

(2) COVID-19 病棟に看護師を配置した後、看護管理職が実施した評価の実態を明らかにする。

なお、本研究における看護管理職は、「看護師免許を有し、看護師の人事における看護部門の最高管理者」と定義する。

3. 研究の方法

(1) 対象者

COVID-19 患者専用病床を5床以上有する、許可病床400床以上の急性期病院418施設を調査対象とした。

(2) データ収集方法

対象施設の看護部長に相当する者に研究協力を依頼し、同意を得られた施設に郵送法にて無記名自記式質問紙調査を実施した。

質問内容は COVID-19 病棟看護師の選択基準(4件法22項目)、応援看護師の選択基準(4件法22項目)、COVID-19 病棟の開設時期や受け入れた患者の重症度など COVID-19 病棟の特性(選択式)、回答者や対象施設の特性(選択式)、配置転換後に実施した評価の内容(自由記述)とした。

(3) 分析方法

COVID-19 病棟看護師と応援看護師の選択基準、COVID-19 病棟の特性等を単純集計した。両選択基準で「まったく重視しなかった」「あまり重視しなかった」と回答した者を非重視群、「やや重視した」「最も重視した」と回答した者を重視群に分類した。²検定、Fisher の正確確率検定にて、COVID-19 病棟の特性と両選択基準の非重視群と重視群の割合の差を検定し、有意差($p < .05$)を認めたと選出基準を目的変数、COVID-19 病棟の特性を説明変数とし2項ロジスティック回帰分析にて関連の強さを分析した。分析には IBM SPSS Statistics 28.0 を使用した。配置転換後の評価内容は内容分析を行った。

(4) 倫理的配慮

本研究は石川県立看護大学倫理委員会の承認を得て実施した(看大 2022-85 号)。

4. 研究成果

(1) 結果

調査結果、126 施設の回答を得た(回収率 29.9%)。

対象施設の特性は感染症指定医療機関が 57 件(46%)、重点医療機関が 109 件(87.2%)であった。COVID-19 病棟の特性は 2020 年 4 月 5 日以前に COVID-19 病棟を開設した施設が 75 件

(60.5%)であった。重症度別の患者の受け入れ方針(複数回答)は、軽症の患者を受け入れる施設が74件(59.7%)、中等症の患者を受け入れる施設が83件(66.9%)、中等症の患者を受け入れる施設が91件(73.4%)、重症の患者を受け入れる施設が57件(46%)であった。COVID-19病棟の開設方法(複数回答)は稼働中の病棟をCOVID-19病棟に転換した施設が86件(68.7%)、稼働中の病棟の一部病床をCOVID-19病棟に転換した施設が55件(43.7%)であった。COVID-19病棟を開設した時に応援看護師を確保した施設は63件であった。

COVID-19病棟看護師の選択基準のうち重視群の割合が75%以上の項目は7項目、25%未満は3項目であった。応援看護師の選択基準のうち重視群の割合が75%以上の項目は8項目、25%未満は4項目であった。重視群の割合が共に75%以上の項目は、「妊娠していない」「基礎疾患がない」など6項目、25%未満の項目は「管理職である」「喫煙していない」など3項目であった。

COVID-19病棟看護師の選択基準とCOVID-19病棟の特性との関連で有意差を認めた項目は、「リーダーシップがとれる」と中等症の患者を受け入れること、およびCOVID-19病棟看護師数、「集中治療部門での勤務経験がある」と重症の患者を受け入れること、「人工呼吸器を使用する患者の看護経験がある」と重症患者を受け入れること、および稼働中の病棟の一部病床をCOVID-19病棟に転換すること、「感染防護の技術を習得している」と稼働中の病棟をCOVID-19病棟に転換すること、および稼働中の病棟の一部病床をCOVID-19病棟に転換することなど9項目であった($p<.05$)。応援看護師の選択基準とCOVID-19病棟の特性との関連で有意差を認めた項目は、「集中治療部門での勤務経験がある」と重症の患者を受け入れること、およびCOVID-19病棟看護師数、「人工呼吸器を使用する患者の看護経験がある」と重症の患者を受け入れることなど計6項目であった($p<.05$)。

また、COVID-19病棟看護師および応援看護師の選択基準である「集中治療部門での勤務経験がある」に影響していたCOVID-19病棟の特性は重症の患者を受け入れることであった(オッズ比4.146)(オッズ比7.83)。

(2) 考察

看護管理職がCOVID-19病棟看護師や応援看護師を選択する際に重視していた基準は、妊娠や基礎疾患がないことなど感染した際に重篤化するリスクを持たないことであった。これらの基準は先行研究でも重視されていたことが報告されており、COVID-19に罹患した患者への看護の提供と感染した際に重篤化するリスクのある看護師の保護の両立を図って重視された基準であると考えられる。一方、感染防護技術の習得に関する基準は重篤化リスクに関連した項目と比較するとCOVID-19看護師、応援看護師共に重視されていなかった。この結果からは、看護管理職がCOVID-19病棟で勤務する看護師にはすでに習得している感染防護技術に加え、新たな感染防護技術が必要であると判断して配置を検討していたことが推察される。

また、重症患者を受け入れる場合は、COVID-19病棟看護師と応援看護師ともに集中ケア関連の看護経験を重視して選択していた。この結果から、COVID-19病棟における応援看護師の役割にCOVID-19患者への看護実践を含んでいる施設が多かったことが示唆された。

本研究はCOVID-19病棟に看護師を配置した後に看護管理職が行った評価の内容についても明らかにする予定であったが、COVID-19病棟開設時において看護管理職がCOVID-19病棟看護師と応援看護師を選択する際に重視した基準とCOVID-19病棟の特性との関連を明らかにすることに留まった。しかし、本研究の結果からCOVID-19病棟開設といった緊急事態の中での看護管理職の看護師の配置に関する方針が明らかにすることができた。本研究の結果から新規感染症発生時の看護師配置や、平時における看護師の教育に関する示唆を得ることができたと考えられる。

5. 引用文献

- 藤野正子, 鈴木千晶, 井出由起子, 川島孝太. (2020). 【危機のマネジメント 新型コロナウイルス感染拡大第1波への各組織の対応】りんくう総合医療センターの取り組み 特定感染症指定医療機関としての平時からの備えと緊急時のマネジメント. 看護管理. 30(9). 826-831.
- 一般社団法人日本クリティカルケア看護学会, 一般社団法人日本集中治療医学会. (2021). COVID-19重症患者看護実践ガイド Ver.3.0. p30. https://www.jsicm.org/news/upload/COVID-19_nursing_guide_v3.pdf (検索日 2021年8月6日).
- 古林千恵. (2021). 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う看護管理者としての実践と今後の課題 名古屋市立東部医療センターの取り組み. 看護管理. 31(1). 58-64.
- 公益社団法人愛知県看護協会. (2020). COVID19緊急調査 結果. <https://www.aichi-kangokyoikai.or.jp/files/libs/5689/202101211211358437.pdf> (閲覧日 2021年8月6日)
- 日本看護協会. (2021). 看護管理者の皆様へ-新型コロナウイルス感染症への対応-Ver.3. https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/kangokanri/pdf/nursing_manager_for_covid_19_ver3.pdf (検索日 2021年8月4日).
- Poortaghi, S., Shahmari, M., Ghobadi, A. (2021). Exploring nursing managers' perceptions of nursing workforce management during the outbreak of COVID-19: a content analysis study. BMC Nursing. 20(27). doi:10.1186/s12912-021-00546-x
- 武村雪絵. (2021). 新型コロナウイルス感染症に対応する看護職員の確保及び最適なマネジメント

ト検討に向けた実態調査研究. 令和 2 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業) . 総括研究報告書. https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202006027A-sokatsu_0.pdf (閲覧日 2021 年 12 月 4 日)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------